

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1426
施設名	碑文谷もみじの森保育園
施設所在地	東京都目黒区碑文谷6-13-1
法人名	社会福祉法人信正会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色の発見を楽しむ

<テーマの設定理由>

園は公園内に立地し、四季の自然を身近に感じ自然に恵まれた環境の中で生活しており、一年を通して様々な自然物の色を感じ取ることが出来る。
絵の具の活動が好きで色を混ぜることを楽しむ姿が多く、色との関りをより深めていくために活動を設定した。

2. 活動スケジュール

- ①3色の色水から新しい色を作る
- ②自分の作った色からイメージを広げる
- ③色見本を持って色探しをする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ①
準備物・赤・青・黄色の3色の色水、透明のコップ(大中小)、スプーン、棚
環境設定・色水はポンプ式のボトルに入れ、量の調整をしやすいようにした。
・作った色水を掲示できる棚をすぐ横に設定した。
- ②
準備物：赤・青・黄色の3色の色水、透明のコップ、スポット、画用紙
環境設定・スポットを使用し、細かい色の量の調節ができるようにした。
- ③
準備物：色見本カード(画用紙を小さく切ったカードの一部を丸く切り抜き、20色程のカードをまとめ、一人ずつに配った)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①赤・青・黄色の色水をカップに入れて色を混ぜ合わせた。
- ②スポットを使って自分のお気に入りの色を作った。作った色からイメージを広げて絵を描いた。
- ③活動②の際に、作った色と同じ色を探す姿から色見本カードを保育士が準備し、色見本カード持って室内や戸外で色探しを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ①・3原色みの色を使って自分で色を混ぜ、新しい色を作ることを体験した。
- ・最初の活動時は色水を自分のコップに入れることを楽しんでいましたが、活動の回数を重ねると同じ色を混ぜた友達との色の違いに気付いたり、友達と同じ色を作るためにはどうしたら良いか保育士に尋ねたりする姿があった。
 - ・棚を冷蔵庫に見立て、作った色を棚に飾っていた。同じ色を混ぜても量によって色が異なることに気付き、「色々なぶどうジュースを作る!」と話し、様々な紫色を作ることを楽しんでいた。
- ②・色水遊びを何度も行った経験からスポイトで色水の量を調節しながら自分の好みの色になるように色を作る姿があった。
- ・友達の色を見て、「どうやって作ったの?」と話し、色の作り方を聞いたり、同じ色を混ぜたが友



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ①・色を3つに固定したことで、何色と何色を混ぜるとこの色になるということが子ども自身気付くようになり、自分のイメージする色を作る姿が次第に増えていった。
- ・近くに棚を設置し冷蔵庫に見立てたことで、色水遊びだけでなくお店屋さんごっこに発展し、お店屋さんになりきって同じ味(ぶどうジュース)を沢山作ろうとする姿があった。
 - ・また友達の色水を見て同じ色にするにはどうしたらよいか保育士に聞いたり、自分で試したりする姿もあり、友達の姿が刺激になっていた。
- ②・友達と同じ色を作りたい気持ちが強くなり、自分から色の作り方を聞き関わりながら色水遊びを楽しんでいた。同じ色を混ぜても全く一緒の色にはならないことに不思議さを感じながらも同じような色味になったことを喜んでいた。
- ・自分の作った色に名前を付ける活動では同じ名前を付ける子どももいたが、その色からイメージした絵を描くと、イメージした物の味や形、色が異なり、一人一人がしっかりとイメージをもって絵を描いていた。
- ③・太陽や雲などの自然物は、子どもによって見え方や「この色!」と言った色に違いがあり、色の捉え方に違いがでたことが面白かった。
- ・①の時と比べ、子ども同士での関わりが増えた分、一緒に活動に取り組む姿が多く、友達と一緒に考えたり発見したりする姿が多かった。